

社会資本総合整備計画 事後評価シート  
長野中心市街地の活性化及び拠点整備

平成27年3月

長野県長野市

計画の名称	長野中心市街地の活性化及び拠点整備		
計画の期間	平成24年度 ～ 平成26年度 (3年間)	交付対象	長野県長野市
計画の目標			

本市では、将来の都市像を「～善光寺平に結ばれる～ 人と地域がきらめくまち ながの」に定め、「多様な都市活動を支える快適なまち」を政策のひとつに掲げている。そのため、身近な生活圏を中心とした拠点地域づくりと広域拠点である中心市街地の魅力づくりを行い、公共交通機関の充実及び地域間を安全に結ぶ道路ネットワークの強化を図ることにより、暮らしたくなるまち、訪れたくなるまちを目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・中央通りにおける歩行者数を20,753人／日から21,600人／日へと増加する。
- ・魅力的とにぎわいがある中心市街地が整備されていると感じる市民の割合を23.3%から28%に増加させる。
- ・使いやすい道路が整備されていると感じる市民の割合を36.0%から41.0%に増加させる。
- ・南長野運動公園総合球技場及び長野運動公園陸上競技場の利用者数を166,901人／年から331,000人／年に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値	中間目標値	最終目標値
(H23)	(H26)	(H28)

備考

① 中心市街地のメイン通りである、中央通りにおける歩行者通行数を測定する。

20,753人／日      21,200人／日      21,600人／日

② 市民アンケートにより、「魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている」と感じる市民の割合を把握する。

23.3%      26.0%      28.0%

③ 市民アンケートにより、「日常生活において、使いやすい道路が整備されている」と感じる市民の割合を把握する。

36.0%      39.0%      41.0%

④ スポーツ・レクリエーションの拠点である南長野運動公園総合球技場及び長野運動公園陸上競技場の利用者数を測定する。

166,901人／年      166,901人／年      331,000人／年

全体事業費	合計 (A+B+C)	21,126.6百万円	A	10,102.4百万円 (提案3,243.7)	B	10,890.1百万円	C	134.1百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	16.0%
-------	---------------	-------------	---	----------------------------	---	-------------	---	----------	---------------------------	-------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価の実施時期	平成27年1月
社会資本総合整備計画検討会議（都市再生整備計画検討会議）	公表の方法	長野市ホームページに掲載、長野市都市整備部都市計画課の窓口にて閲覧

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 道路事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	都市再生整備計画事業	一般	長野市	直接	長野市	善光寺表参道地区都市再生整備計画事業	区域面積:243ha 道路事業、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、高次都市施設ほか	長野市						10,102.4	一部未実施 (第三期計画等で実施予定)
小計												10,102.4			

B 関連社会資本整備事業				直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						H24	H25	H26	H27	H28		
1-B-1	街路	一般	長野市	直接	長野市	(都)3・3・25号 北部幹線 街路整備事業	L=1,237m	長野市						2,903.0	計画期間の前倒しにより未 完成(別事業で継続実施予定)
1-B-2	街路	一般	長野市	直接	長野市	(都)3・5・27号 返目浅川線 街路整備事業	L=332m	長野市						0.0	計画期間の前倒しにより未 着手(別事業で実施予定)
1-B-3	道路	一般	長野市	直接	長野市	豊野駅南口広場整備事業	豊野駅南口広場整備 A=4,600㎡	長野市						0.0	計画期間の前倒しにより未 着手(別事業で実施予定)
1-B-4	道路	一般	長野市	直接	長野市	柳原古里線	道路改良 L=370m	長野市						40.0	計画期間の前倒しにより未 完成(別事業で継続実施予定)
1-B-5	道路	一般	長野市	直接	長野市	長野北477号線(若槻大通り)	舗装打替 L=1,000m	長野市						55.0	完成
1-B-6	道路	一般	長野市	直接	長野市	若里村山堤防線	舗装打替 L=2,500m	長野市						0.0	計画期間の前倒しにより未 着手(別事業で実施予定)
1-B-7	道路	一般	長野市	直接	長野市	長野南302号線(古牧朝陽線)	舗装打替 L=870m	長野市						60.0	完成
1-B-8	道路	一般	長野市	直接	長野市	豊野石吉線	道路改良 L=600m	長野市						15.7	計画期間の前倒しにより未 完成(別事業で継続実施予定)
1-B-9	公園	一般	長野市	直接	長野市	南長野運動公園総合球技場整備	総合球技場整備 A=25,000	長野市						7,600.0	完成
1-B-10	公園	一般	長野市	直接	長野市	長野運動公園陸上競技場整備	陸上競技場整備 A=32,144㎡	長野市						216.4	完成
合計													10,890.1		

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-B-1	安全な道路が構築されることにより、中心市街地と生活拠点とのアクセス利便性が向上されるとともに利用者の快適性が図られ、中心市街地の活性化が期待できる。											
1-B-2	安全な道路が構築されることにより、中心市街地と生活拠点とのアクセス利便性が向上されるとともに利用者の快適性が図られ、中心市街地の活性化が期待できる。											
1-B-3	地域拠点としてコンパクトなまちづくりの整備を推進する。											
1-B-4	安全な道路が構築されることにより、中心市街地と生活拠点とのアクセス利便性が向上されるとともに利用者の快適性が図られ、中心市街地の活性化が期待できる。											
1-B-5	安全な道路が構築されることにより、中心市街地と生活拠点とのアクセス利便性が向上されるとともに利用者の快適性が図られ、中心市街地の活性化が期待できる。											
1-B-6	安全な道路が構築されることにより、中心市街地と生活拠点とのアクセス利便性が向上されるとともに利用者の快適性が図られ、中心市街地の活性化が期待できる。											
1-B-7	安全な道路が構築されることにより、中心市街地と生活拠点とのアクセス利便性が向上されるとともに利用者の快適性が図られ、中心市街地の活性化が期待できる。											
1-B-8	安全な道路が構築されることにより、中心市街地と生活拠点とのアクセス利便性が向上されるとともに利用者の快適性が図られ、中心市街地の活性化が期待できる。											
1-B-9	総合球技場の拡大整備により、中心市街地へ回遊する人が増え、中心市街地の活性化が期待できる。											
1-B-10	陸上競技場の整備により、多目的化する陸上競技場を利用する人が増え、中心市街地へ回遊する人が増える。											

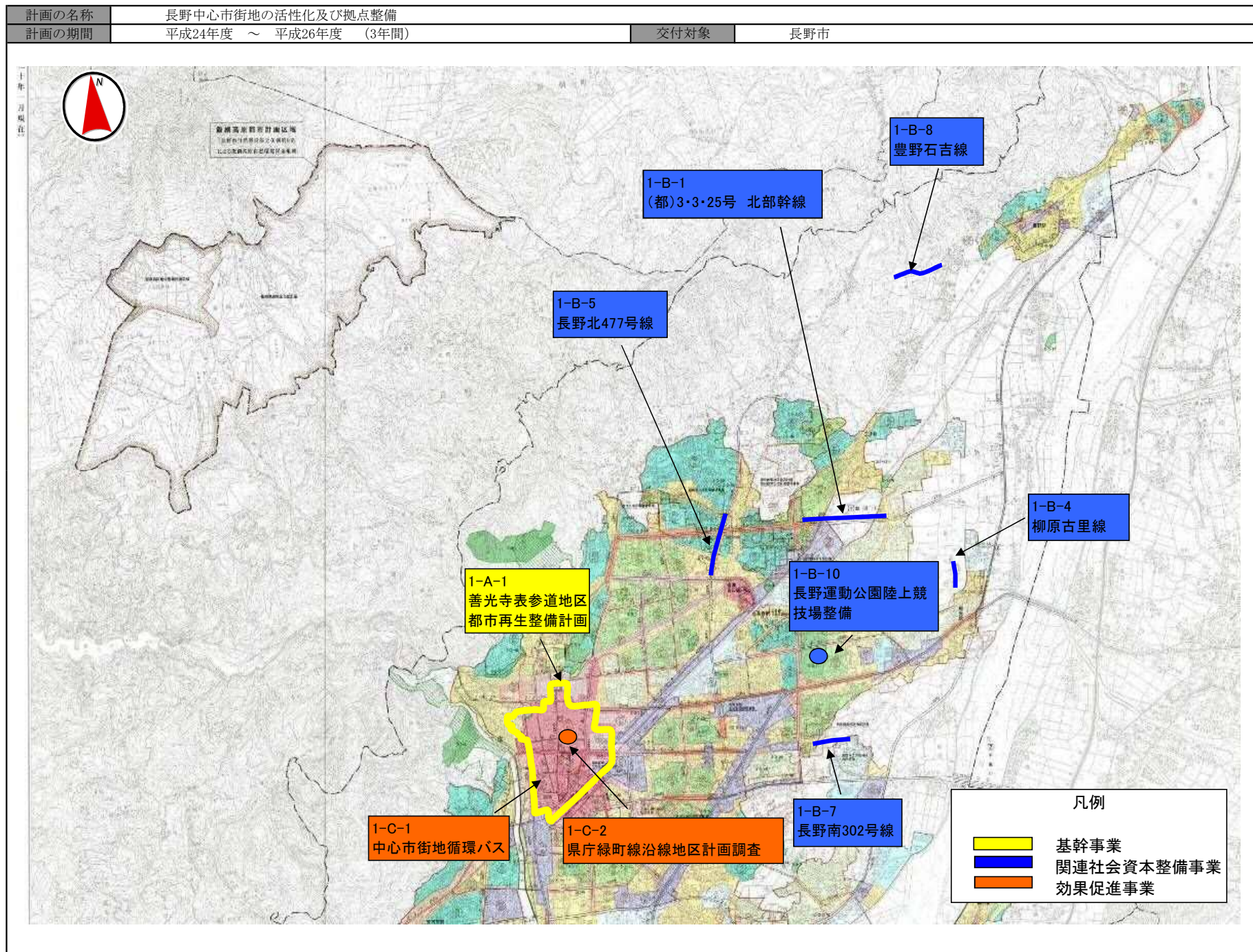
C 効果促進事業				直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						H24	H25	H26	H27	H28		
1-C-1	公共交通	一般	長野市	間接	アルピコ交通㈱・長電バス㈱	市街地循環バス機能向上事業	循環バス4台購入費	長野市						75.4	完成
1-C-2	計画・調査	一般	長野市	直接	長野市	県庁緑町線沿線地区計画調査	まちづくり基本調査、区画整理事業調査	長野市						58.7	計画期間の前倒しにより未 完成(別事業で継続実施予定)
合計													134.1		

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-C-1	市街地循環バスの運行時間の拡大及び運行便数を増便することにより、中心市街地の移動利便性の向上を図る。											
1-C-2	県庁緑町線及び周辺一体のまちの再生に向け調査・検討等行なうことにより、将来、中心市街地の活性化につなげていく。											

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・善光寺表参道地区都市再生整備計画事業や道路事業などハードとソフトを組み合わせた総合的な事業展開を行ったことから、観光客等の誘客や歩行者の回遊性が向上し歩行者数の減少傾向が緩和した。</li> <li>・善光寺表参道地区都市再生整備計画事業や道路事業などハードとソフトを組み合わせた総合的な事業展開を行ったことから、賑わいの創出やまちの魅力が向上した。</li> <li>・道路事業等の進捗によって日常生活における道路環境が改善するとともに中心市街地と生活拠点のアクセスが向上した。</li> <li>・スポーツ・レクリエーションの拠点施設の整備によって利便性が向上したことことから利用者数が増加した。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（中央通りにおける歩行者通行数の増加）	最終目標値	21,600人／日	目標値と実績値 に差が出た要因	中心市街地へのアクセス向上や公共交通機関の充実に加え、拠点施設や歩行空間の整備のほか、市民団体との協働などによって中心市街地の魅力が向上したことから、観光客等の誘客や歩行者の回遊性の向上につながっているものの、測定当日の降雨の影響から目標に達しなかった。
		最終実績値	17,251人／日		
	指標②（「魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている」と感じる市民の割合の増加）	最終目標値	28.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	都市基盤施設の集積、機能向上に加え、門前町の風情を活かした街なみ形成などによってまちの魅力が向上しているものの、アンケート実施時期において本計画の核となる事業の多くが完成していなかったことから目標に達しなかった。
		最終実績値	20.3%		
	指標③（「日常生活において、使いやすい道路が整備されている」と感じる市民の割合の増加）	最終目標値	41.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画に位置づけた事業によって幹線道路や生活道路の整備が進められていることに加え、市単独事業などにおいても、ほかの整備すべき路線の整備を進めたため目標に達した。
		最終実績値	44.2%		
	指標④（南長野運動公園陸上競技場及び長野運動公園陸上競技場の利用者数の増加）	最終目標値	331,000人／年	目標値と実績値 に差が出た要因	長野運動公園陸上競技場は事業効果が発現し利用数が増加しているものの、南長野運動公園総合球技場は事後評価時において未共用であることから目標に達しなかった。なお、最終実績値については、過去の実績や同規模同種施設からの推計値である。
		最終実績値	265,100人／年		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野駅善光寺口利活用ネットワークや表参道ふれ愛通り活用推進委員会など、整備した拠点施設の利活用を促進する体制が構築された。</li> <li>・拠点施設や魅力ある歩行空間を整備した結果、まちを回遊する観光客等の姿を見かけるようになった。</li> <li>・本計画の実施によって市民のまちづくりに対する意識が向上し、オープンカフェ実施の検討やまちを草花で彩る活動のほか、文化芸術振興や景観形成活動への取り組みなど市民活動が活性化した。</li> </ul>			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新幹線金沢延伸による都市間交流の促進に向けた魅力あるまちづくりを推進する。</li> <li>・中心市街地の賑わいと活力を持続させるため、回遊性の向上と歩いて暮らせるまちの形成に向け、都市機能の集積や歩行空間の整備を図る。</li> <li>・道路事業など計画の前倒し終了に伴い生じた未着手、未完了事業の早期着手、完成を図る。</li> <li>・整備した拠点施設の有効活用を通じて賑わいの創出と回遊性の向上を図る。</li> </ul>					



(参考図面) 市街地整備





(参考図面) 市街地整備

